

自然体験 2020 春夏

スポーツ 昆虫 植物 星座

秩父ミュージアムパーク

春の星座観察会 4月25日
金星 春の星座 春の大曲線
19:00~21:00 土

4月25日(土)開催予定の「春の星座観察会」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、**中止**となりました。

今後の状況によっては、開催予定のインストラクタ事業も延期・中止をさせていただきます。

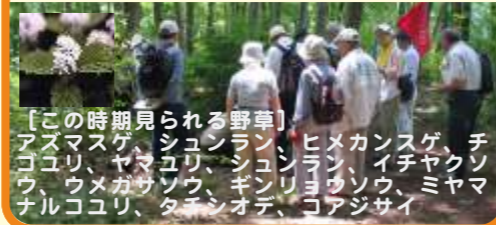
ルディックウォーキング 5月30日
初心者講習会
9:30~正午 土

集合場所 パルテノン
定員 先着20名(事前申込)
費用 500円(ボール貸出含む)
持ち物 補給水・タオルなど
※ボールは貸し出しします。
服装 運動のできる服装



初夏の山野草観察会 6月14日
9:00~正午 日

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
持ち物 ルーペ・カメラ等
服装 歩きやすい服装(林の中も歩きます)
山野草に詳しい先生にお話を聞きながら園内を散策します。



ホタル観賞の夕べ 6月27日
18:30~21:00 土

集合場所 パルテノン
費用 無料
定員 500名
持ち物 懐中電灯
特典 中学生以下に蛍光ベストをプレゼント



夜の昆虫探検隊 7月25日
19:00~21:00 土

集合場所 昆虫の森入口
費用 無料
定員 先着50名
持ち物 虫かご・虫取り網
服装 蚊に刺されにくい服装
特典 中学生以下に蛍光ベストをプレゼント



子ども昆虫探検隊 8月1日
9:00~正午 土

集合場所 百花園駐車場
費用 無料
持ち物 虫かご・虫取り網
服装 帽子・歩きやすい服装(林の中も歩きます)
特典 中学生以下に蛍光ベストをプレゼント



手づくり望遠鏡 8月12日
月を観察しよう
18:00~19:00 水

集合場所 音楽堂(予定)
費用 500円
定員 30組(申込み先着順)
特典 作成した望遠鏡はお持ち帰りできます。



夏の星座観察会 8月12日
19:00~21:00 水

集合場所 音楽堂(予定)
費用 無料
特典 中学生以下に蛍光ベストをプレゼント
雨天 スライド上映になります。
夏の星座 木星 土星
ペルセウス座流星群など



定期星座観察会 毎月第4
秩父ミュージアムパーク後援事業
集合場所 多目的ハウス(雨天実施)
費用 無料
春夏 19:00~21:00
5月23日(土) 6月27日(土) 7月25日(土) 8月1日(土)
8月8日(土) 8月22日(土) 8月29日(土)
部分日食観察会 6月21日(日) は 15:30~ 音楽堂前



秋冬 18:00~20:00
2021年 9月26日(土) 10月24日(土) 12月26日(土)
2022年 1月23日(土) 2月27日(土) 3月27日(土)
※4月・8月・11月は、各星座観察会を参照ください

星空を眺めて宇宙を感じてみませんか

本物を見ましょう

世界最大級の望遠鏡や、人工衛星に載せた大型望遠鏡から正確で美しい映像が送られてくる時代になりました。コンピュータグラフィックスで書かれた惑星の図なども有ります。

今度は秩父ミュージアムパークで、本物の木星や土星、月などを見てみましょう。思ったより木星は小さく、月のクレーターも影の長さが毎回違ってくるのがわかってきます。

何か新しいことを発見できるかもしれません。直径30cm~15cmの大望遠鏡を用意します。

「星空博士」の資格を持ったおじさんたちが、星座や神話を案内します。

○天体観測会○ 毎月実施
毎月第4土曜日、多目的ハウスにて、夏期は午後7時から冬期は午後6時から星座の解説をはじめます。惑星や銀河、星雲、流星など、折々の現象を解説します。

※4月・8月・11月はインストラクタ事業にあわせて、日程場所が変更になります。インストラクタ事業の予定を参照してください。(内藤 定芳)

ホタル観賞

秩父ミュージアムパークの駒沢ホタルの里に飛んでいるホタルは、雄のホタルが雌のホタルを探し求め隊列を組んで飛んだり、急降下したり、光を放つ時間を合わせながら飛びますので鑑賞して下さい。

ホタルは世界に約2千種位いると言われますが、日本にいるのはクロマドホタルやオバホタルを含めて43種類います。ゲンジホタルやヘイケホタルとクメジマホタルのように幼虫時代を水中で過ごすのは、世界でも珍しく一桁台の種と言われていています。

ホタルは昆虫ですので、卵・幼虫・さなぎ・成虫と姿を変えます。この中でも幼虫時代が長く、秩父地域では2年から5年位かけて成虫になります。

また、同じ卵から生まれた幼虫でも成虫になるのが、このように差が生じて成虫になるのは、天候や災害・環境の変化などで卵が産めない状況になっても幼虫で生き残れます。

このような生態なので稲作が始まった太古の昔よりホタルの種が保たれたと思います。

秩父地域には以前、樹木が無く背丈の少し高い草が生えた所にゲンジホタルがいましたが、ここのホタルは大きく約20mm位ありましたが、開発により飛ばなくなりました。ここ駒沢地区のゲンジホタルは、昔からこの地域で住んでいるホタルをさらに住みやすい環境を整備して皆さんに観賞頂いていますので、環境を壊さずにホタルを捕らないで鑑賞して下さい。(坂本文雄)



蛹(さなぎ)



幼虫(ようちゅう)

多彩な山野草の世界

ミュージアムパーク及びその周辺地域では、野生植物だけでも500種類以上の植物が分布しており、植物種の多様性から見ても重要なスポットである。

中でも、埼玉県、レッドデータブック植物編に記載されている植物では、アカハナウラビ、コヒロハハナヤスリ、サクライカグマ、タニハゴ、オオカナワラビ、アズマスケ、カタクリ、ヒメニラ、ステゴビル、シロバナエンレイソウ、イカリソウ、アズマイチゲ、



ウメガサソウ(初夏)



ツクシハギ(秋)

ネコノメソウ、マキノスミレ、アキノギンリョウソウ、キクタンギク、ウメガサソウ、アケボノスミレ、オオヤマツツシ、オオヒキヨモギ、アサマヒゴタイなどが見られる。

○ワンポイントアドバイス○
シダ類植物の場合は孢子のう群の形や付く位置、鱗粉の色や形・花弁の先が筒状になっているかなど、また、茎、花柄などの毛の有無や伏毛か又は開出毛かなども区別点として重要。

(岩田 豊太郎)

昆虫たちの世界をのぞいてみよう

みなさんはカブトムシやクワガタをとったことがありますか。夏の夜、ミュージアムパークの大きなクヌギには毎晩多くの親子がカブトムシを取りに来ています。取るのは楽しいことですが、

私たちがインストラクターは昆虫の生態も知ってほしいと思っています。そこで昼間には樹液に集まる昆虫や池の周りを飛んでいるトンボ、草地のバッタなどを観察する「子ども昆虫探検隊」を、夜には樹液だけではなく、あかりに集まる昆虫を観察する「夜の昆虫探検隊」を実施しています。

昼間のクヌギには樹液を吸いに大きなオオムラサキやちょっとこわいスズメバチ、カナブンなどが集まっています。カブトムシがいなくなるときのにはなにが一番強いのかということも観察できます。

夜は昼間以上にいろいろな昆虫があかりに集まってきます。たくさんのが、カメムシ、セミも集まってきます。ぜひミュージアムパークの夏を親子で楽しんで欲しいと思います。

(町田 和彦)



公園インストラクター事業
各種イベントの申し込み・お問い合わせには、秩父ミュージアムパーク管理事務所までお願いします
電話：0494-25-1315 FAX：0494-21-1039

このマークの無い場合は雨天中止です。

ノルディックウォーキング



クロスカントリースキーをもとにフィンランドで発表されたノルディックウォーキングは、ヨーロッパを中心に多くの人に愛好されています。2本の専用ポールを活用した全身運動で歩くことにより、



足腰への負担の軽減を実感しながらも高い運動効果を得られます。季節を問わず簡単にできるので健康の維持・増進、運動不足の解消に役立つスポーツとして注目されています。

(中村 繁樹)

きのこの世界



ヤマドリダケ (初夏)

ミュージックパークはきのこの発生にはかなり良いロケーションです。南東向きの日当たりの良い斜面、マツやモミを含む雑木林、整備された遊歩道、林内も程よく手入れされています。きのこと言えば秋がシーズンですが、梅雨明けから多種多様なきのこが発生します。迷信に惑わされることなく、図鑑と見比べ、正しく判別する練習をしましょう。



マイタケ (秋)

(田代和照)

小さい生き物たちの世界をみてみよう



サンショウウオの卵

バルテノンから西側斜面を下っていくと、駒沢ホテルの里があります。この周辺ではトウキョウサンショウウオやヤマアカガエルの卵やオタマジャクシが見られます。また越冬した昆虫やカタテハ、テングチョウ、コツバメなどの蝶類、トンボの幼虫(ヤゴ)を観察する事が出来ます。朽木や落葉の下を探し、子供達に大人気カブトムシなどの幼虫を見つけてみましょう。歩きやすいハイキングシューズ等でご参加下さい。(江原 繁)



トンボの幼虫 (ヤゴ)

バードウォッチングはじめてませんか

秩父ミュージックパークで観られる野鳥
秩父では、168種類確認されている内、ミュージックパークでは75種類確認されています。一年中見られる留鳥、春フィリピンなど南方から繁殖



ミヤマホオジロ (冬鳥)

に来る夏鳥。シベリアなどから越冬に来る冬鳥などに別れています。冬のバードウォッチングは留鳥と冬鳥を見る事が出来、野鳥は早朝の方がよく見られます。冬は木の葉も落ちて見通しがきき、林の中にある鳥もよく見ることが出来ます。たとえば、木の天辺に止まる鳥、カワラヒワ、中程には、シジュウカラ・ヤマガラ・エナガ・メジロ・コゲラ (冬は小群でいる) 藪は、ウグイス・ホオジロ (留鳥) ・ベニマシコ・アオジ・カヤクグリ (冬鳥) 地表では、ハクセキレイ・セグロセキレイ (留鳥) ・ツグミ・シロハラ (冬鳥) などが見ることが出来ます。



オオルリ (夏鳥)

いつ・どこで・何を見たかを付けておく、フィールドノートがあると良いです。ハンディ図鑑があれば早く確認できます。

双眼鏡の選び方
双眼鏡があれば世界が広がります。倍率が大きいとアップで見れると思えますが視野が狭くブレが生じます。★代表的なレンズ口径は次のサイズです。
20口径 折りたたむと、手のひらに収まるコンパクト旅行等のシーンで大活躍。
30口径 バードウォッチング用の双眼鏡としてもっとも人気があるのがこのサイズ大きさ・重さ・見え味のバランスが良く、初めて双眼鏡を購入する方におすすめ。他の口径にない明るさや視界の広さを持つがかさばり、重く、使いづらいと感じるかもしれません。
おすすめは 8×30、8×32 [倍率×対物レンズの口径 (mm)] (丸山 政弘)

冬を越すチョウ

チョウたちの仲間には、成虫で冬を越すチョウがいます。ここミュージックパークでもカタキチョウ、ムラサキシジミ、ムラサキツバメ、ウラギンシジミ、テングチョウ、アカタテハ、カタテハ、シータテハ、ヒオドシチョウ、ルリタテハの10種類のチョウが成虫で冬を越しています。その中でも、写真のカタキチョウ、テングチョウは、陽当たりの良い東または、南向き斜面で、テングチョウは枯れ葉の近くで、カタキチョウは冬でも緑の残る草や生垣などの低木の葉裏で冬を越します。時には、写真のように雪の中に埋まってしま



カタキチョウ

こともありますが、チョウたちは冬になると凍りにくい身体に変化するため、大丈夫なのです。これらのチョウたちが春、目覚めるのは、テングチョウが3月上旬、カタキチョウが3月下旬ころで、目覚めると直ぐに結婚相手を探し、卵を産みます。彼らの春の目覚めのタイミングは卵を産み付ける植物の萌芽に合わせているようです。(石塚 正彦)



テングチョウ

自然体験 2020~2021

スポーツ 体験 植物 星座 野鳥

秩父ミュージックパーク

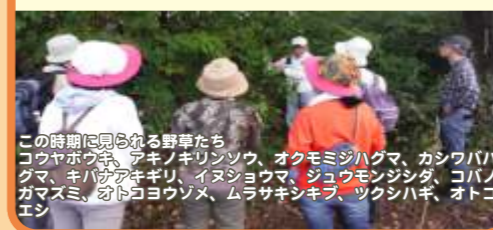
きのこ観察会 10月3日

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
定員 50名
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・トング・カゴなど



秋の山野草観察会 10月4日

集合場所 多目的ハウス
費用 無料
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
持ち物 ルーベ・カメラ・筆記用具等
山野草に詳しい先生にお話を聞きながら園内を散策します。



この時期に見られる野草たち
コウヤボウソウ、アキノキリンソウ、オクモミジハグマ、カシワバハグマ、キハダアキギリ、イヌシヨウマ、ジウモンジシダ、コハノガズミ、オトコヨウソメ、ムラサキシキブ、ツクシハギ、オトコエシ

ノルディックウォーキング 10月25日

集合場所 パルテノン
定員 先着20名 (事前申込)
費用 500円 (ボール貸出込)
持ち物 補給水・タオルなど
※ボールは貸し出します。
服装 運動のできる服装



海を渡るチョウ「アサギマダラ」



アサギマダラは夏を涼しい本州の高原などで過ごし、秋には新しい世代が暖かな南をめざして移動します。鱗粉の少ない浅葱色 (空色) の羽で風に乗れ、「フワーリ、フワーリ」と飛び美しい大型の蝶です。一番長い距離を飛んだ記録は、蔵王高原から沖縄と那国島までの2, 246 kmだそうです。

ミュージックパークには、だいたい旅の途中の10月中旬頃に、白いフジバカマやサケバヒヨドリの花を求めて舞い降り、去っていきます。ぜひ、ミュージックパークの森の中にある秘密の花園において下さい。葉草フジバカマなどの花を見つけながら南下して子孫を残し、また翌年には北の故郷にもどってくるアサギマダラの長い旅も、驚異的移動能力も、謎やロマンに満ちています。(飯塚 明)

ミニ門松を作ってみよう 12月12日

集合場所 音楽堂 (予定)
費用 無料
定員 申込み先着順30名
雨天 決行
秩父ミュージックパーク産の竹を使用して個性豊かなミニ門松を作成しよう。



バードウォッチング 2月7日

集合場所 百花園駐車場
費用 無料
持ち物 望遠鏡・双眼鏡・カメラ・筆記用具等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
最後に鳥合わせを行います。



早春の生き物 & カタクリ観察会 3月28日

集合場所 パルテノン
費用 無料
持ち物 ルーベ・カメラ等・すくい網等
服装 歩きやすい服装 (林の中も歩きます)
ニリンソウ・アズマイチゲ・水芭蕉等も群生しています。駒沢ホテルの里に生息するトンボの幼虫やゴカイ、サンショウウオの卵などを観察して見よう。



公園インストラクター事業

各種イベントの申し込み・お問い合わせには、秩父ミュージックパーク管理事務所まで
電話：0494-25-1315 FAX：0494-21-1039

当公園では、動植物などの専門知識を持つボランティアである「公園インストラクター」の方々の協力を得て、各種イベントを実施しています。2020年度はこのリーフレットのイベントを開催します。どうぞ積極的にご参加下さい。